

いつも当社システムをご利用いただきありがとうございます。
今月分の請求書をご査収の程よろしくお願い申し上げます。

いつも大変お世話になりありがとうございます。

暑いくらいのお天気から一転、急に冷え込んできた今日この頃です。皆さまはいかがお過ごしでいらっしゃいますか。

秋分をすぎてもなお、夏のような日差しの或る日、住吉区の人気カレー屋さんへ行ったのですが1時間待ちだったので、近くの住吉大社で時間つぶしをすることにしました。

ちょっと早めの七五三や、結婚式のご家族を眺めながら、本殿をお詣りして、ひろい境内をぶらぶらしました。

境内の奥の方には「初辰まいり」の幟がたくさん立っていました。

住吉大社のHPには「毎月最初の辰の日に参拝すれば、より一層力を与えて守り助けてもらえると信仰されており、商売発達のために遠方から訪れる人も多く、早朝から大勢の参拝客でたいへんにぎわいます。種貸社、楠珞社、浅澤社、大歳社の四社をそれぞれにお参りするの慣わし」と書いてありました。初辰の日ではなくても、お詣りの人が次々といらっしゃっていました。

種貸社（たねかししゃ）は名前の面白さに興味を惹かれました。建物が真新しくなかったので、最近できた神社なのかとおもったのですが、創建年代は不詳ですが、1655年住吉大社の境内に移されたとのこと。五穀の種を授かり豊作となる信仰がもととなって、商売繁盛の資本(種銭)や智恵(智恵種)を得たり、種貸人形を受けると子宝を授かると信仰されているそうです。神様から種を貸してもらって増やすのですね！

背中に2匹の子供を背負った狛犬さんも、とってもかわいかったです。

すごく大きな立派な楠木が印象的な楠珞社（なんくんしゃ）は、毎月授かる「招福猫」が有名とのこと。奇数月には左手挙げの「人招き」、偶数月には右手挙げの「お金招き」の小さな猫さんを授かれるそうです。小猫を集めて48体をそろえ、それを神社にお返しし一回り大きな招福猫（中猫）と交換してもらいます。これも左右2種類あり、さらに大きな猫へと交換しながら、発展と繁栄を祈願するというのです。

境内の外にでて、徒歩2分程の大歳社内にある願い事が叶うか否かを占う霊石「おもかる石」にも、続々とお詣りの人が来られていました。

本殿はもちろんですが、摂社や末社にお詣りする人も多くいらっしゃって、ずっと昔から、大阪の人々に信仰され大事にされてきた場所なのだな〜と、改めて思いました。

秋をすっ飛ばして冬がやってきたような気温で身体も戸惑っていますが、皆さまもどうぞお大事になさってくださいませ。



初辰まいり



種貸社



招福猫さん



お目当ての元フレンチシェフが作るカレー
美味しい〜！！！！

今月も最後まで読んで頂きまして、
ありがとうございました。
来月もよろしくお願いいたします。